

花＊花＊花～歌の花束

山内房子（ソプラノ）

神坂真理子 (ピアノ)

曲目

つゆ (中田喜直)

あなたを捨てるなんて（ヴォルフ＝フェラーリ）

ローズマリー (マルティヌー)

紫陽花（團伊玖磨）

神なる主よ、天の王よ（ヴィヴァルディ）

花（寺嶋陸也）

夏の思い出（中田喜直）



明るい花、妖艶な花、夢の花、そして
秋の色溢れる新美南吉の「花」。
午後のひととき、色とりどりの歌の中
に花の名前を探してみてください。

平成30年

8.26 目

文化ホール／13:15～13:50

田原文化会館

演奏者プロフィール

山内房子 (ソプラノ)

愛知県立成章高校卒業後、上野学園大学にて声楽を学ぶ。読売新人演奏会および中部読売新人演奏会に出演。第一回古楽コンクール、第14回チェコ音楽コンクール入賞。1987年から1998年まで国立音楽大学音楽研究所の研究員を務める。現在は17・18世紀を中心に、さまざまな作曲家の声楽作品を取り上げたりサイタルを行っている。

神坂真理子 (ピアノ)

東京藝術大学作曲科卒。在学中に安宅賞受賞。宍戸睦郎、原博の各氏に師事。邦楽、合唱を中心に作曲編曲活動を行う。CD 出版など多数。日本音楽著作権協会正会員、日本童謡協会理事、作曲家グループ〈邦楽 2010〉会員、洗足学園音楽大学講師。

渥美半島出身の山内房子さんは、今年2月、東京で新美南吉の童話や詩による新作歌曲を中心としたコンサートを開催し、好評を博しました。今回は、その中から「花」を披露していただきます。

南吉は教師として、安城の女学校で教育にも情熱をそそいだことが知られており、学園生活を描いた文学作品も多く残されています。花がもたらす人生の豊かさ・美しさを歌い上げる詩が、様々な花の産地である渥美半島でも親しまれてゆくと良いですね。

「花」

新美南吉

今朝はこんなに
みんなが花を
持って来てくれた
教室の隅の花瓶に
いっぱい
重くて持てないほどだ
芙蓉もある
萩もある
尾花もある
おみなえし
女郎花もある
百日紅さるすべりも坊主花も
名も知らぬ花も――
押しあって押されて
こぼれた花がこんなに
床にちらばっている
なんてすばらしいことだ

今朝はこんなに
みんなが花を持って来てくれた
あの少女も持って来たろう
この少女も持って来たろう
そして
彼女達は
花といっしょに
今朝は何か明るい美しいもの
やさしい澄んだものも
持って来たろう
彼女達が持って来た花と
それといっしょにもって来た
美しいもので
今朝のここはこんなに
明るい
私は教室にはいりかけて
思わずほえんだ
思わずほえんだ



※坊主花：南吉の故郷半田地方の方言で千日草のことを言う。